

## 令和2年度第6回米子市指定管理者候補者選定委員会 会議概要

1 日 時 令和2年11月2日（月） 午後2時開会

2 場 所 米子市役所本庁舎3階 第2応接室

### 3 出席者

#### 委員

細田委員長、入江副委員長、青砥委員、大谷委員、北農委員、郡委員、林委員、湯浅委員

#### 所管部局

総合政策部淀江振興課（橋井淀江支所長、山浦淀江振興課長、淀江振興課職員）

経済部文化観光局文化振興課

（岡経済部文化観光局長、下高文化振興課長、文化振興課職員）

#### 事務局

浦林教育長、辻総務部長、瀬尻総務管財課長、総務管財課職員

### 4 会議概要

#### [1 開 会]

#### [2 委員長あいさつ]

#### [3 諮 問]

- ・米子市美術館
- ・米子市立山陰歴史館・米子市福市考古資料館・米子市埋蔵文化財センター
- ・米子市伯耆古代の丘公園・上淀白鳳の丘展示館
- ・米子市文化ホール・米子市淀江文化センター・米子市公会堂

#### [4 議 事]

##### (1) 指定管理者候補者案（選定委員会諮問）の審議

##### ①【米子市伯耆古代の丘公園・上淀白鳳の丘展示館】

所管部局の総合政策部淀江振興課が、指定管理者候補者案（選定委員会諮問）の選定過程などを説明した。

##### 【質疑等】

（委員） 公募によらず法人を選定して、指定管理者を変更するのはどういう経緯か、教えてもらえますか。

（委員） 伯耆古代の丘公園と上淀白鳳の丘展示館を一緒に管理というのは分かるが、この2施設の指定管理者をなぜ変更するのか分かりにくい。

（所管課） 株式会社白鳳は温浴施設の運営が主な目的で、経営の安定化と集客の賑わい作りに注力してもらうということが1点と、上淀白鳳の丘展示館の学芸員の設置と伯耆古代の丘公園の施設を利用した賑わい作りという文化面が出てくるので、商業面と文化面の両方を扱うというのが労力を使いますので、それぞれに注力し、それぞれの賑わい作り・集客を効果的に行うために、事業者を分けてと考えました。白鳳よりも文化財団の方が学芸員のネットワークを活かせる効果が発揮できるということでの選定です。

- (委員) この2施設以外の文化施設とのつながりも持たせるということか。  
 (所管課) それを持たせたいというのが一番の理由です。
- (委員) 今の学芸員はこの施設に限定した学芸員ですか。  
 (所管課) 専属の学芸員です。研修等には参加していますが、ほかの施設との情報のつながりとか他の年代の遺跡埋蔵物などの知見を深めてもらって、学芸員のスキルアップを米子市全体の文化面の底上げに活かしたい、ということがあります。
- (委員) 資料の収支予算書を見ると、収支が平衡してない。伯耆古代の丘は赤字の収支予算になっているし、白鳳の丘は黒字の収支予算になっている。この割り振りは何か理由があってなのか、教えてください。  
 (所管課) 収支予算書の収入と支出が合っていない件について、施設事業費によって利益を出すと考えていただくと良いかと思えます。限られた事業費の支出から利益を出すということからこの収支予算書になっています。
- (委員) 事業を行うには人件費が必要になるので、人件費の中の事業費以外を充当しなければならぬと思う。事業をして収入を得て、利益を出すという見方もできるが、事業を行うには人も動くし、人件費充当も含めて考えた方がいいのではないか。  
 (所管課) 事業収入・雑収入は自主事業部分に当たるもので、ここで得た利益を更なる賑わい作りとか集客に向けたい意向があったが、整理したいと思えます。
- (委員) 自主事業計画書の内容に新規と明記されていたので、利益分は新規事業に充てられて使われるのだろうとは思っています。

## ②【米子市美術館】

所管部局の経済部文化観光局文化振興課が、指定管理者候補者案（選定委員会諮問）の選定過程などを説明した。

### 【質疑等】

- (委員) 米子市立図書館は市立で館長に米子市の職員が行き、職員はこの財団の職員。美術館は指定管理者でこの財団に出しているのだが、どういう違いがあってそうになっているのか。  
 (所管課) 指定管理者制度に移行したときに美術館、その他に公会堂、文化ホールなどあるが、指定管理で運営となった。図書館にも同様の考え方はあったが、関係者、教育委員会などで検討した結果、図書館は指定管理に出さず、直営で委託運営となった。以後、図書館は委託で、委託先がたまたま文化財団。指定管理制度を使うか、市直接の委託で運営するか、の違いです。
- (委員) 図書館は、小中学校に開放されているとも聞くので、指定管理に変わると上手くいかない恐れもある、かな。  
 (所管課) 学校教育の敷設につながるなど図書館の使命もあるので、利用者を集めてとすだけでなく、その部分で指定管理ではないやり方をしていると考えている。
- (委員) 図書館法で規制している訳ではないか。  
 (所管課) 規制している訳ではない。他市では指定管理でやっているところもあるようだが、米子市は委託で管理運営している。

## ③【米子市立山陰歴史館・米子市福市考古資料館・米子市埋蔵文化財センター】

所管部局の経済部文化観光局文化振興課が、指定管理者候補者案（選定委員会諮問）の選定

過程などを説明した。

【質疑等】

(委員) 学芸員は山陰歴史館・福市考古資料館・埋蔵文化財センターの3施設で2人か。  
(所管課) 3人を予定している。福市考古資料館と埋蔵文化財センターは近接しているので、そこで1人と歴史館で2人と考えているが、実質的には歴史館が2.5人ぐらい、福市考古資料館と埋蔵文化財センター合わせて0.5人ぐらいの仕事量の割り振りになるかと思っている。

(委員) 埋蔵文化財センターは建物が古いと思うが、あとどれぐらいの期間使われるか。  
(所管課) 建物は昭和47年築の日新小学校の後を使っており、10年～15年は持たせようとは思っている。耐震自体は非常に強化なものになっており心配は無い。

(委員) 人が入るところの耐震性、棟は大丈夫だと。

(所管課) はい。耐震補強がしてある建物です。

(委員) 昭和47年築であれば旧耐震基準ですよ。何階建てですか。

(所管課) 3階建てで、1階が調査研究のフロアになっており、2階3階はほぼ出土品で埋まっている。鉄製品とか、上淀廃寺の壁画等を入れる温度と湿度の調整ができる特別収蔵庫の部屋が一つあり、あとはほぼ出土品で埋まっている。

(委員) 山陰歴史館の利用者数が大きく増えているのは、何か要因があるのか。

(所管課) 要因は分析しきれていないが、大山1300年祭に関連した展示を行い、相乗効果的に展示やPRができたことと、米子城関係の来場者が来られるのと、近年は2年続けて「鉄道のまち 米子」という企画展を開催しており、今年開催時にも多くの来場をいただき、効果が出ているのではと思っている。先日、JR米子支社からヘッドマーク等の寄贈を受け、常設展示すれば来場者が益々増えると思っており、来場者が増えれば、職員体制も充実しないといけないので、今回のような人数配置・仕事量になっている。

(委員) 埋蔵文化財センターの業務で、埋蔵文化財の調査が無くなるというのは委託になるからか、開発が少ないということか。

(所管課) 開発が少なくなっていることはある。埋蔵文化財センターで埋蔵文化財調査を受託し始めて30年程経つが、仕事が切れたことはほとんどなかった。しかし、来年度以降はほとんど仕事がない状況である。発掘調査は大規模事業の3年～4年前に先行して動くのだが今年度は無い。大規模な道路計画などあれば協議があるが、現段階でもない。小規模な調査はあるが大規模な調査、受託するような調査は無いのは初めてである。ただし、埋蔵文化財センターの中に受託施設の機能は持たせて、いつでも対応できるようにとは考えている。現場仕事で職人技的なものがあるので、調査が無くなり伝わらないことも危惧している。

④【米子市文化ホール・米子市淀江文化センター・米子市公会堂】

所管部局の経済部文化観光局文化振興課が、指定管理者候補者案(選定員会諮問)の選定過程などを説明した。

【質疑等】

(委員) 文化ホールもさなめホールも駐車場はあるが、公会堂の駐車場は前庭の以外は無いか。

(所管課) 公会堂を改修するときに駐車場の問題は課題として上がっていた。公会堂で広

い駐車場を確保するのは困難なので、周辺を調べると民間の駐車場が1500台分程度確保できる。駐車場対策として、市役所が休みの日や時間外の場合は市役所の駐車場を使っただけの場合は無料で、また、ひまわり駐車場やエルモールとは1時間は無料にさせていただくことで提携し、民間の駐車場も使い今の形になっています。

(委員) 民間とも提携されているんですね。

(所管課) 提携しているのは、ひまわり駐車場とエルモール駐車場の2箇所です。

**【審議結果】**

選定基準に基づく市の評定結果に異議はなく、市の評定どおり候補者案が承認された。

**(2) 答申案の協議**

答申書の事務局案を提案し、協議が行われた。

**【質疑等】**

特になし。

**【協議結果】**

審議結果に基づいて作成した答申書の事務局案について、異議なしと決定された。

**[ 5 答 申 ]**

**[ 6 そ の 他 ]**

**[ 7 閉 会 ]**